

触車事故防止ルールの遵守徹底に向けた安全教育法の開発

村越暁子 宮地由芽子 松本麻美 鎗木俊暁 羽山和紀

触車事故防止ルールを遵守しない場合のリスクを教育することにより、ルール遵守の徹底を図る安全教育法を開発しました。

現場社員の調査により、触車事故防止ルールの遵守を徹底するためには、リスクの構成要素の中でも特に、当該ルールの不遵守が事故につながるという「事故の発生プロセス」の教育が有効であることを明らかにしました。この結果に基づき、7個の教育項目を開発しました(表、図)。

教育項目を組み合わせた6種類の教育プログラムを保線・電気系統の現場社員を受講者として試行した結果、受講満足度が高く、教育1ヶ月後までルール遵守態度の向上効果

がありました。さらに、現場管理者が講師を担当する際の負担感は運用上の許容範囲内であることを確認しました。

表 開発した7個の教育項目

種類	教育項目	適用可能なルール
グループ 討議型	(a)事例の置き換え	触車事故防止に関する全ルール
	(b)変動要因の想定	
	(c)事故後影響の想定	
体験 演習型	(d)読み間違いエラー体験	ダイヤ
	(e)ロールプレイ体験	Wチェック
	(f)注意力エラー体験 (図参照)	早期待避等
	(g)VR体験 (合図なし/合図あり)	

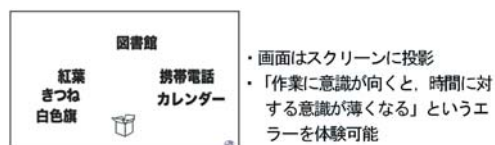


図 注意力エラー体験の画面例